

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)					授業形式																	
AM33Z014		導入 (日本近代文学)(Introduction (Modern Japanese Literature))					導入教育科目 文化・国際					対面																	
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																						
選択		1	1	医学部医学科	後期	水4	氏名 淵上 千香子																						
							E-mail fuchigamick@nbu.ac.jp 内線																						
授業の概要		「大分」をはじめとする「土地」が書かれた「文学」(小説等)を取り上げ、その作品が「どのように書かれているのか」に着目しながら読解し、作中における「大分」や「土地」の表象について学ぶ。「文学」と「大分」「土地」の関係を検討するとともに、「文学」やその「批評」そのものが置かれている文脈や価値観についても学修する。																											
具体的な到達目標																		DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1		小説などの作品について、さまざまな読解方法を用いて批評することができる。																											
目標2		「大分」と「文学」の関係性について説明することができる。																											
目標3		「文学」で語られる「土地」、および関連作品についての見解を論理的に説明することができる。																											
目標4																													
目標5																													
目標6																													
目標7																													
目標8																													
目標9																													
目標10																													
授業の内容																													
1		オリエンテーション																											
2		「文学」を読解するための方法 どのように書かれているのか																											
3		「文学」を読解するための方法 語り手																											
4		「土地」を語る「文学」 表象と言説																											
5		「大分」を語る「文学」 「大分の作家」																											
6		「大分」を語る「文学」 「大分」を舞台とする作品																											
7		「大分」を語る「文学」と観光メディア																											
8		「土地」を語る「文学」と観光メディア																											
9		「語られること」と「語られないこと」																											
10		語り手はどこにいるのか																											
11		「土地」と向き合いながら語ること 作者																											
12		「土地」を語る「文学」を批評すること 批評																											
13		「土地」を語る「文学」の批評 受講生による作品読解																											
14		「土地」を語る「文学」の批評 受講生による書評作成																											
15		まとめ																											
ラ イ ク ニ テ イ ン グ		A:知識の定着・確認		ミニレポート、書評作成										工 夫 そ の 他 の															
		B:意見の表現・交換																											
		C:応用志向																											
		D:知識の活用・創造																											
時間外学修の内容と時間の目安		準備学修	次回講義で取り上げる作品を読解し、予習する(10h)。																										
		事後学修	配付資料や講義メモ、ノートを用いて復習する(10h)。 講義で取り上げた作品を読み直し、認識を深めるとともに、関連作品を読み視野を広げる(10h)。																										
教科書		教科書は指定しない。各回講義で資料を配付または配信する。																											
参考書		参考書は指定しない。各回講義で関連文献を紹介する。																											
成績評価の方法及び評価割合		評価方法				割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10													
		ミニレポート				50%																							
		期末課題または試験				50%																							
注意事項																													
備考																													
リンク																													
		URL																											